

平成31年2月19日

平成30年 N I E実践報告会

報 告 書

日 時 平成31年2月16日（土）
午後2時から午後4時30分
会 場 静岡放送会館 4階 大会議室
発 表 富士宮市立上井出小学校
静岡市立井宮小学校
浜松市立西都台中学校
静岡市立観山中学校
静岡聖光学院高校
静岡県立三島南高校
静岡県立遠江総合高校（以上7校）

開会のあいさつ

静岡県N I E推進協議会 安倍 徹 会長より以下のとおりあった。

新聞配達員を対象に募集したエッセイが約3,500あり、その最優秀に焼津市の後藤さんが輝いた。エッセイは、新聞配達中の出来事が記載され、小さな子供が配達を楽しみにしてくれているとの内容で新聞を愛してくれる人たちに感謝したい。との内容に心打たれた。

本日の発表会は盛りだくさんの発表があります。ご期待くださいとあいさつがあった。



開会のあいさつ 安倍 徹 会長

1 実践報告の発表

(1) 富士宮市立上井出小学校

タイトル：子どもの「伝える力」を伸ばすためのN I E実践



発表者 杉山教諭

平成28年度から平成30年度までの3年間の実践発表で、取り組みとしては「子どものコミュニケーション能力不足を補う」目的として実践した。

子どもたちの家庭で新聞を購読していない家庭もあり、新聞を身近にしていく取組から各学年における授業への活用等を行い、自分の学校だけに留まらず他校への発信・連携の手段に新聞を活用しているとの報告があった。

(2) 静岡市立井宮小学校

タイトル：気付く つながるNIE ～新聞を媒体として～

情報過多の時代に、自分に必要な情報を取捨選択していく力を付けるため新聞を活用して総合的な力を付けさせることとした。井宮小のNIEは、気付く⇒情報を知る、つながる⇒情報の共有とし具体的には「毎日届く新聞の活用」「NIEだより」「新聞社のワークシート通信」に取り組んだとのことであった。

報告では、昨年行った「公開授業」について担当した教諭からあった。



発表者 西田教諭・中村教諭

(3) 浜松市立西都台小学校

タイトル：NIEで新聞を身近に



発表者 鈴木教諭

地域の特徴から明るく素直で優しい子どもが多い。反面、自分をアピールすることや自分で考え判断し行動しようとする主体性に欠けるため新聞を活用して自分をアピールする表現力を身に付けさせることを目的に実践したとのことである。子どもたちの情報収集はインターネットやテレビが多く、新聞を購読していない家庭もあり、新聞に触れる機会を多くしNIE実践を行ったとの報告があった。

(4) 静岡市立観山中学校

タイトル：日常・授業に新聞を

観山中学校の研修テーマは「聴いて、考えて、つながる授業～語彙力の育成とともに～」である。NIE実践にあたり、まず新聞に親しむところからスタートした。朝の新聞タイム、新聞の展示・ニュースクラップノートの作成、時事問題テスト実施など無理なく生徒が取り組めるよう心掛けたとの発表があった。



発表者 滝 教諭

(5) 静岡聖光学院高校

タイトル：高まる社会への想像力



発表者 伊藤教諭

静岡聖光学院は中学校・高校で3年間のNIE実践指定を受け活動してきた。新聞記事の積極的な活用、NIE実践では生徒が自ら意欲的に動くことを取組の柱に実践したとのことであった。

NIE実践指定を受け、「明るく、楽しく、やさしいNIEを目指そう。」「新聞は文学に比べて文体は没個性。しかし、社会の現実をあぶりだし、すべてを包摂するもの。」と実践校の言葉に感銘し、指導を行ったとの報告があった。

(6) 静岡県立三島南高校

タイトル：新聞を学ぶ、新聞で学ぶ

NIE実践指定を受け、新聞づくりをとおして新聞の読み取り・理解力「コミュニケーション能力」の向上を目標として指導をした。新聞閲覧コーナーの設置、静岡新聞記事検索システムの導入を行い、新聞があつて当たり前のものとするこゝを取組の狙いとした。また、3年生の選択科目「新聞講読」で実践した内容の報告があつた。



発表者 岩野教諭

(7) 静岡県立遠江総合高校

タイトル：キャリア教育の一環としてのNIE実践



発表者 江間教諭

NIE実践指定校となり2年目を迎えた。遠高が育てたい力の内、伝える力・聴く力・課題を発見する力・まとめる力・選択する力・学びに向かう力をNIE実践の中で育てることを目標として取り組んだとのことであつた。具体的な活動として「朝NIEデー」「無償新聞の配布」「スクラップリレー」「朝読書・朝学習」が挙げられその実践報告があつた。

2 実践報告会に参加して

NIE実践報告会に参加して新聞の講読が子どもたちの読解力やコミュニケーション能力を身に付けるものとして有意義なものであることは、年齢や学校が違って同じであることが分かる。いまに始まつたことではないが新聞を購読しない家庭がみられるため子どもたちに学校で新聞を閲覧できるようにしたとの報告がほとんどの学校からあつた。

時事情報等の収集閲覧は新聞だけでなく、その媒体としてスマホ・PC・テレビ等が普及している現在、すべての家庭で新聞を購読し子どもたちの目に触れさせ、読ませ、理解させる機会は難しいだろうと思う。しかし、生徒・学校に家庭(PTA)が加わり協働できれば、NIE実践は更に進むであろうと予想できる。静岡県高P連として何か協力できないか今後の課題としたい。

記載者
事務局長 遠藤師正